

江口恵津子&松本佳津トークセッション in 香川 インテリアの力を熱く語り合う 窓装飾プランナーの重要性も訴求



2017年がはじまり、賀詞交歓会等が各地で開催されている頃の1月19日夜、昨年9月にオープンしたカリモク家具高松ショールームでJAFICA（日本フリーランスインテリアコーディネーター協会）とIICBP（インターナショナルICビジネスプロジェクト）の主催、（一社）日本インテリアファブリックス協会他8団体後援で「江口恵津子&松本佳津トークセッション in 香川」が行われました。

Facebookの告知だけだったにも関わらず関東から沖縄まで業界関係者、IC総勢80余名の申し込みがあり、瞬間に募集定員に達したそうです。JAFICA江口会長と愛知淑徳大学教授の松本佳津さんの夢のようなコラボの実現に関心の高さを感じます。

「目覚めよ、眠れる獅子たちよ！智慧あるICたちよ！機は熟した！」～時代をしなやかにかけめぐる珠玉のストーリー～と



題して行われたトークセッションは、松本さん特有の語り口に、切れ味のある江口会長の掛け合いに時間を忘れて引き込まれていきます。ご自身の経緯からIC活動の動向解説、特にインテリアの力について熱く語り、窓装飾の重要性と窓装飾プランナーの役割等を訴えます。

限られた時間では語りつくせなかったと語る江口会長ですが、お2人の情熱はしっかりと参加者に伝わりました。

そして食事をしながらのフリートークで参加者同士の交流はさらに深まります。

翌20日はJAFICA顧問の竹内康彦氏が会長を務めている「自然住宅」弾のサロンを見学。広

大な敷地に、自然素材によりライフスタイルをも提案されるモデルハウスを、昨日から引き続き30名以上が訪問しました。

昼食は讃岐うどんの老舗「山田屋」で、午後は国際家具デザイナーのジョージナカシマ記念館を訪問。ここでしか見られないジョージナカシマの建築工学に基づいた絶妙のバランスを持つ拘りの椅子や月桂樹の無垢板テーブル等を見学しました。

四国4県の窓装飾プランナー認定者は首都圏に比べると少数ではありますが、このイベントを通じて窓装飾のインテリア力を訴えたお2人のカリスマICに影響された窓装飾プランナーの誕生に期待します。

お客様のご期待以上の提案が出来るよう研鑽したい

伊勢丹新宿本店 佐藤紫乃さん

「お客様から、窓装飾プランナーの資格はありますか、と聞かれたスタッフがいます。この資格についてお客様の認知度が上がって来ているのではないのでしょうか」と語る佐藤紫乃さん、伊勢丹新宿本店5階リビングルームのオーダーカーテン売場を担当されています。

ファブリックスメーカー勤務時代から25年以上、オーダーカーテン販売一筋に歩んで来られた佐藤さんは、窓装飾プランナーという資格があることを、一昨年、ニチペイの展示会会場に置かれていた受験案内を見て知られたそうです。三越伊勢丹として、現場に立つ

スタッフのスキルアップや資格取得に前向きなのだそうで、昨年、同僚の方と二人で受験して、揃って合格されたそうです。

「現在のお買い場は、リニューアル前と違ってハンガーサンプル主体の構成になっていますが、幅広いアイテムを取り揃えていること、また昔と違って、お客様が非常に勉強されて来られるようになったこと。昨今の住宅事情から窓が多様化し、それに伴ってお客様のご要望も多様化していることから、私たちがスキルをあげていかなければ、お客様のご期待に応えられません」と佐藤さん。伊勢丹に消



費者が抱く期待値の高さから、日々の勉強に努めておられるそうです。「全体的には新築のお客様が多いと思いますが、掛け替えのケースも多く、今度は『もっとおしゃれにしたい』といったご要望があり、柄物やデザイン性が高いものをお求めになる傾向があります。同じような商品は、他店でも取り扱っていると思いますが、組み合わせ方

やお薦めする商品によって、スタッフの感性が出ると思います。お客様のご期待以上の提案が出来るようにしていきたいと思っています」とのこと。今後、窓装飾プランナーのスキルアップ企画で、織物工場見学の機会があれば参加して、ファブリックへの知識を増やしていきたいとのことでした。

生活者向け「窓装飾プランナー」PRイベント

オリジナルカフェクリップを制作 ウィンドトリートメントの魅力も訴求

「窓装飾プランナー」がウィンドトリートメントの魅力を訴求する一般ユーザー向けイベント「カフェクリップ制作教室」が、昨年（2016年）10月、神奈川県逗子市の逗子文化プラザ市民交流センターにて開催、逗子在住の主婦など約30名が参加しました。

同イベントは、窓装飾プランナーの技能や役割などを一般ユーザーにPRし、窓装飾プランナーの認知度を高めることを目的としたもので、逗子市に本拠を構えるカーテン&インテリア専門店「オカザキ」が主催し、ウィンドトリートメント業界活性化プロジェ

クト（WTP）、及び（一社）日本インテリアファブリックス協会が後援、そしてインテリアスタイリングプロ、インテリア専門店グループLIBA21が協賛する、ウィンドトリートメント業界一体となった合同イベントです。

講師を務めたのは、インテリアスタイリングプロ代表の鈴木恵美子さん。助手はオカザキの土屋幸世さん。もちろん御二方ともに窓装飾プランナーです。

イベントでは、前半に施工例写真の紹介や、窓迎を美しく飾るためのアイデアなどウィンドトリートメントの楽しみ方を紹介、その後カフェクリップを制作す



地域のユーザー30名が参加

るワークショップを行いました。カフェクリップ制作は、事前に用意されたカーテン生地や造花を、ハサミやグルーガンを用いて切り貼りして、フラワータイプのカフェクリップをつくりあげるもの。基本的な制作方法のレクチャーを聞いた後、鈴木さんと土屋さんのサポートの下で、参加者

はオリジナルのカフェクリップを制作しました。完成後は参加者同士で作品を見せ合い、和気あいの和やかな雰囲気の中で終了しました。なおイベント当日は、タウン誌の取材もあり、後日その様子が誌面で紹介されました。



スタイリングのアイデア紹介



熱心にかフェクリップを製作



窓装飾プランナー支援企画

トソーが窓装飾プランナーの支援を目的に「ウインドウスタイリング・スキルアップ講座」開催

人気イベント「with curtains2016」

「窓装飾プランナー特別席」を用意 特別な環境でプレゼンを堪能

インテリアファブリックスの合同発表会「with curtains2016」（トソー（株）主催）が、2016年11月17日、東京・浅草橋のヒューリックホール浅草橋にて開催されました。

「with Curtains」は、日本を代表するインテリアファブリックメーカーのマーケティング・商品開発担当者が、自社製品の開発背景やセールスポイントなどをプレゼンテーション、さらに参加メーカーのテキスタイルをコーディネート展示し、提案のヒントを提供するという業界を代表する人気イベントです。

今年はシンコールインテリア、リリカラ、アスワン、フジエテキスタイル、サンゲツ、マナトレーディング、東リ、スミノエ、川島織物セルコンの9社が参加、（一社）日本テキスタイルデザイン協会がコーディネート展示を担当、非常に華やかに開催されました。



さて、400名を超える来場者が集まる同イベント。少しでも申し込み手続きが遅れると定員オーバーとなり、またイベント当日も良い席を確保するのも大変ですが、窓装飾プランナー事務局では、NIF会員トソー（株）のご協力で「窓装飾プランナー特別席」を計30席確保、最前列を含む前方の座席で、ゆったりとご覧いただける環境を用意しました。参加いただいた窓装飾プランナーは、充実した時を過ごされました。

また「特別席枠」で参加された窓装飾プランナーには、「家具が主役のインテリア」（トソー出版 定価3000円（税別））がプレゼントされました。

トソー（株）では、窓装飾プランナー（および同等の実務経験がある人）などを対象とするワークショップ&セミナー、「ウインドウスタイリング・スキルアップ講座」を、昨年9月15日に東京（同社本社2階会議室）、9月20日に福岡会場（中小企業振興センタービル）、10月6日に名古屋（ウインクあいち）にて開催しました（後援：（一社）日本インテリアファブリックス協会）。

この「ウインドウスタイリング・スキルアップ講座」は、2015年にスタイリングプロ主催で行われたスキルアップ講座が好評だったことから、窓装飾プランナー支援企画の一環で、トソーの主催で規模を拡大して開催されたもの。まず第1部では、ファブリックスワークショップとして、インテリアスタイリングプロの佐藤里夏さんが講師となり、ファブ

窓装飾のコツを伝授



リックスの種類や歴史的な様式などを解説したのち、オリジナルのテキストとサンプルを使い、ファブリックスのチップを見分け、オンリーワンの「ファブリックスバイブル」を作成。さらに第2部は、前畑順子さん（福岡のみ木村さち子さん）を講師に「ウインドウスタイリングセミナー」と銘打ち、「インテリアデザイナーの住む家」（トソー出版）をテキストを使って、効果的な窓装飾のコツを解説したのち、ファブリックスの実物を使って、参加者がコーディネートを試し、発表するなど、窓装飾のより深い知識やテクニックが習得できる内容となりました。